

南区の変遷

南区が誕生した昭和四十七年は、札幌オリンピックが開催された年。真駒内公園内にある「真駒内屋外競技場」や「真駒内屋内競技場」では、各種スケート競技や開会式、閉会式が行われました。

それから35年、南区には区民センターや図書館、体育館、地区センターなどの生活に密着した施設のほか、札幌市民の二大水がめ（「豊平峡ダム」「定山溪ダム」）など都市基盤となる施設が次々と整備され、8万8千人だった人口は15万人を超えるまでに発展しています。

ほかに、芸術文化の薫る街のシンボルとしての札幌芸術の森をはじめ、市立高等専門学校や軟石採掘場跡を造成した石山緑地、札幌市立大学芸術の森キャンパスなども完成

し、新しい芸術文化の発信地となっています。

未来に向かって

南区では、平成十九年度の重点取り組み事項などをまとめた南区実施プラン「みんなでみなみパワーアッププラン」を策定し、区民による主体的なまちづくり活動への支援を行っていきほか、緑豊かな南区の特色と地域の多様な特性を踏まえた、魅力あるまちづくりを進めていきます。

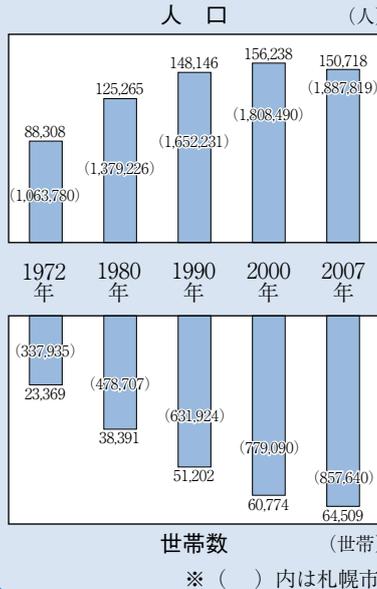
<南区のシンボルマーク>

緑と小鳥に恵まれた南区を象徴し、カタカナで「ミナミ」と読むことができます。



<南区の人口・世帯数の推移>

(各年4月1日現在、国勢調査ベース)



- ① オリンピック選手村 (昭和47年撮影)
- ② 真駒内競技場 (昭和47年撮影)
- ③ 札幌オリンピック開会式 (昭和47年撮影)
- ④ 石山緑地 (平成12年撮影) 以上「写真ライブラリー所蔵」
- ⑤ 真駒内会場最後の第56回さっぽろ雪まつり (平成17年撮影)

- 一九九六年 (平成八年) もいわ地区センター オープン
- 一九九八年 (平成十年) 定山溪自然の村オープン
- 二〇〇一年 (平成十三年) 定山溪温泉街に足湯完成
- 二〇〇二年 (平成十四年) 藤野野外スポーツ交流施設「Fuzz」オープン
- 二〇〇三年 (平成十五年) すみかわ地区センター オープン
- 二〇〇五年 (平成十七年) エドウィン・ダン記念館 リニューアルオープン
- 二〇〇六年 (平成十八年) 定山溪温泉に第2足湯「足のふれあい太陽の湯」完成

札幌市立大学
芸術の森キャンパス開校
定山溪郷土博物館
リニューアルオープン

定山溪源泉公園完成
アイヌ文化交流センター 全面オープン

エドウィン・ダン記念館
リニューアルオープン

すみかわ地区センター
オープン

定山溪温泉街に足湯完成

定山溪自然の村オープン

もいわ地区センター
オープン

(平成十七年)
ポイ捨て等防止条例施行
ススキノ条例施行
(平成十九年)
FISノルディックスキー
世界選手権札幌大会開催

(平成十六年)
出張所・連絡所を「まちづくりセンター」に改編
プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」誕生

(平成十四年)
FIFAワールドカップ
札幌開催

(平成十三年)
札幌ドーム「Hiroba」
オープン

(平成十一年)
地下鉄東西線
琴似〜宮の沢間開通

(平成九年)
豊平区の分区 (清田区誕生)
により10区制へ

(平成八年)
JFL「コンサドーレ札幌」
誕生

